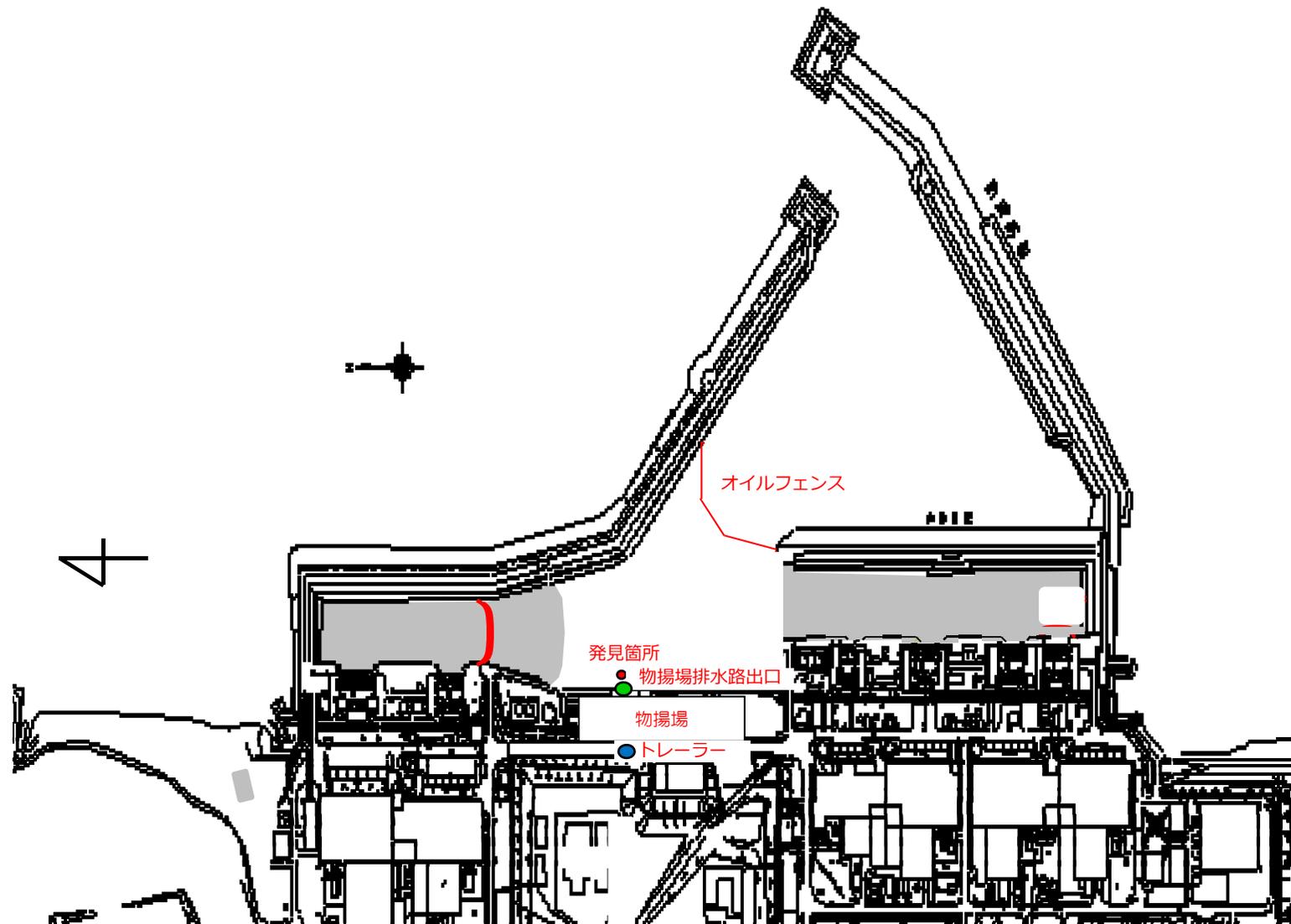


# 福島第一原子力発電所 構内物揚場付近の海面における油の発見について

< 参 考 資 料 >  
2022年7月7日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 本日（7月7日）午前7時32分頃、発電所構内物揚場付近の海面に油が漏えいしていることを協力企業作業員が発見しました。
- 現場調査の結果、発電所構内物揚場排水路出口に約5m×15mの油膜があり、そこから港湾内護岸付近の海面に約2m×5mで油が浮遊していることを確認しました。
- 油の拡大防止処置として、港湾内護岸付近に浮遊している油膜の外側にオイルフェンスを設置。また吸着マットにより浮遊している油を回収。また、発電所構内物揚場排水路出口に吸着マットを設置しました。
- その後漏えいの原因について調査した結果、発電所構内物揚場排水路の上流近傍に駐車していた油抜き済みのトレーラーから残油が漏えいし、排水溝へ流入していたものと判断しました。油の漏えいは停止していますが、念のためトレーラー下部へ受け容器を設置しました。また当該トレーラー近傍の排水路への流入抑制対策として、土嚢ならびに吸着マットを設置しました。
- 発電所構内物揚場排水路出口付近に土嚢を設置し、その上流側にある油膜について引き続き吸着マットによる処理を実施中ですが、海側については、港湾内護岸付近に浮遊している油膜を含め、吸着マット等による処理を完了しています。
- 油膜付近に火気がないことを確認しています。
- 引き続き、原因を調査し、適切に対策を講じてまいります。

# 港湾内護岸付近の状況



【構内配置図】

## 発電所構内物揚場排水路上流近傍に駐車していた車両の状況

---



漏洩した油の状況



トレーラー下部へ受け容器を設置